

令和4年4月4日

ご利用者様、ご家族様、関係者 各位

社会福祉法人品川総合福祉センター  
理事長 永田 元

### 新型コロナウイルス感染状況について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、常日頃から当法人の事業に対し、多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和4年3月上旬、品川総合福祉センター本部内施設のかもめ園知的部門及びかえで荘にて、大規模な新型コロナウイルス感染が発生しました。かもめ園知的部門では利用者35名、職員14名が、かえで荘では、利用者33名、職員14名が罹患しています。

かもめ園では発生を確認した3月5日以降、施設内療養の対応となり、各フロアのゾーニングほか感染対策を徹底し対応しました。罹患した方々は重症化することなく健康観察期間が終了し、3月28日以降はゾーニング解除となり、ご利用者の皆様は通常の生活に戻られました。

かえで荘では3月8日の発生以降、かもめ園と同様にゾーニングほか感染対策を取り、施設内の療養にあたりました。ご利用者、職員とも3月末時点で新たな感染は無く、ゾーニング解除について4階は4月5日、5階は4月13日を予定しております。両園とも医療面では連日、往診専門医に来所いただき、施設内での療養についてご指示いただきながら対応しました。

発生に関して、品川区保健所及び品川区各所管に報告し、ご指導の元、感染防止対策を実施しました。加えて、東京都感染対策専門チームの方に数回にわたり来所いただき、感染防止対策及び集団感染時の注意事項について専門的なアドバイスをいただきました。

この度はご利用者、ご家族の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。今回の事態を教訓として、より一層感染防止対策を徹底し、ご利用者皆様の安心安全を第一として支援にあたって参ります。今後ともご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。